

次期「経営改善及び連携・活用に関する方針」

(令和4(2022)年度～令和7(2025)年度)

法人(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課 健康福祉局保健所生活衛生課
---------	----------------------	-----	----------------------------------

経営改善及び連携・活用に関する方針

法人の概要

1 法人の事業概要

市内の一般家庭や公共・企業などから高齢者向けの仕事を受注し、これを生きがいや健康のために働きたいという高齢者に就業の場として提供する事業などを行います。また、川崎市葬祭場の指定管理者として管理運営業務を行います。

2 法人の設立目的

健康で働く意欲を持つ高齢者の希望に応じた臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会を確保し、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進並びに社会参加の推進を図り、もって高齢者の能力を活かした活力ある地域社会づくりに寄与するとともに、あわせて市民サービスの向上に寄与することを目的とします。

3 法人のミッション

高齢者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業等を通じて、高齢者の生きがいの充実、福祉の増進及び社会参加の推進を図るために必要な事業を行います。また、指定管理者として、川崎市が設置する葬祭場を円滑かつ適切に運営します。

本市施策における法人の役割

高齢化の継続的な進展により、超高齢社会を迎える中、高齢者が培ってきた知識や経験を活かして、身近な地域の社会活動に参加することの重要性が増している状況にあります。

シルバー人材センターは、働く意欲のある高齢者の就業機会の確保、就業を通じた生きがい・健康づくりの促進、社会参加の場の提供等を通じて、高齢者の社会活動を促進する役割を担っています。

また、葬祭場の運営には、施設の用途・特性を踏まえた、公益性・持続性の確保が求められることから、公益財団法人として適切な運営を確保するとともに、施設の管理運営を担うことにより、高齢者を対象とした新たな就業機会の確保を通じ、市民サービスの向上が見込まれています。

	政策	施策
法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	政策1-4 誰もが安心して暮らせる地域のつながり・しくみをつくる 政策1-6 市民の健康を守る 施策1-4-3 高齢者が生きがいを持てる地域づくり 施策1-6-3 健康で快適な生活と環境の確保
	関連する市の分野別計画	かわさきいきいき長寿プラン【R3～5】

現状と課題

1 シルバー人材センター事業の現状

シルバー人材センター事業は、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、60歳以上の健康で働く意欲のある高齢者に地域に、密着した臨時的かつ短期的、その他の軽易な作業を家庭、企業、公共団体から受注し、会員に提供することにより、より多くの高齢者の方に働くことを通じて健康的に生きがいを持って地域に貢献してもらうことを目的として始めました。

その後、本格的な高齢社会を迎え、少子高齢化による生産年齢人口の減少が続く中、年金の支給開始年齢の引き上げや、企業等における定年延長など、高齢者を取り巻く環境が多様化したことで、就業能力の高い会員を確保することが困難になったことに加え、安定した労働力を提供することが求められ、適正就業の推進や新型コロナウイルス感染症による影響もあって、契約金額が減少しております。

2 シルバー人材センター事業の課題

職員のスキルアップ等による効率的な事業推進体制を図ること、登録会員数の増加及び受注増による契約金額の増額を最優先課題としています。

3 葬祭場運営事業の現状

かわさき北部斎苑の大規模改修工事も完了し、工事期間中制限していた火葬受入れ件数が従前の件数に戻ったため、概ね火葬需要に対応している状況です。しかしながら、南北斎苑では、空調設備をはじめ一部の設備が老朽化しているため、不具合の発生が多くなってきております。

4 葬祭場運営事業の課題

高齢者人口の増加に伴い、今後更なる火葬需要の増加が見込まれることから、火葬受け入れ件数の増加への対応や設備の不具合の解消に向けて、利用者へのサービス向上や安定的・継続的な事業運営を行うための取り組みが必要となります。

取組の方向性

1 経営改善項目

限られた経営資源を効果的・効率的に活用するため、職員のスキルアップ等による効率的な事業推進体制の構築に努めるとともに、市所管課、だいのJOBセンター、キャリアサポートかわさき等の関係機関と情報交換会などによる連携を図りながら、シルバー人材センターの特徴である「臨時的かつ短期的、その他の軽易な仕事」を希望する高齢者に対しての就労を促進することなどを通じて、契約金額の増額を図ります。

2 連携・活用項目

シルバー人材センター事業の認知度向上に向けた広報活動を強化します。また、会員になり得る高齢者の掘り起こしを行うとともに、他センターと比較して、契約金額の公民比率が低率であるため、川崎市などの公共団体部門を中心に就業開拓活動をしていきます。

葬祭場運営事業については、市及びシルバー人材センター・富士建設工業共同体において、定期的な会議等を通じ緊密な連携を図るとともに、火葬需要の増加への対応に向けて、南北斎苑の連携による受入れ体制の確保や、組織運営体制の維持を図ります。

法人(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課 健康福祉局保健所生活衛生課
---------	----------------------	-----	----------------------------------

1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画

4カ年計画の目標

川崎市シルバー人材センター「第3期基本計画(令和2年～令和6年度)」を基本とした事業活動を展開し、組織体制の整備、職員の資質向上等に努めつつ、シルバー人材センターの認知度向上及び登録会員数、就業者数の増加を図ります。
また、他都市と比較して低率となっている公共団体部門を中心に、訪問営業活動などの就業開拓に取り組むことで、契約金額の増額を図り、正味財産の適正な水準を保持してまいります。
葬祭場運営事業については、火葬件数の確保を図り、葬家や葬祭事業者等の斎苑利用者に対して、一層の利便性やサービスの向上に努めてまいります。

本市施策推進に向けた事業計画

取組No.	事業名	指標	現状値	目標値					単位
			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度		
①	シルバー人材センター受託事業	シルバー人材センター登録者数	R2:5,780	6,540	6,820	7,100	7,380	人	
		シルバー人材センターを通じて仕事に就いた高齢者の数(請負・委任事業)	R2:1,864	1,913	1,933	1,953	1,973	人	
		事業別の行政サービスコスト 本市財政支出(直接事業費)	R2:175,839 (R2:981,623)	179,099 (1,014,537)	180,856 (1,017,741)	182,637 (1,032,551)	184,443 (1,042,086)	千円	
②	川崎市葬祭場管理運営事業	火葬件数の確保	R2:10,883	12,400	12,500	12,600	12,700	件	
		葬祭場運営会議開催数	R2:12	12	12	12	12	回	
		ご意見・改善要望等への対応割合	R2:60	65	70	75	80	%	
		事業別の行政サービスコスト 本市財政支出(直接事業費)	R2:227,919 (R2:227,919)	236,453 (236,453)	247,409 (247,409)	246,916 (246,916)	246,916 (246,916)	千円	

経営健全化に向けた事業計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度		
①	契約高の向上による財務状況の改善	契約金額	R2:938,204	943,000	955,000	967,000	979,000	千円	
		経常収支比率	R2:102.4	97～103	97～103	97～103	97～103	%	
		正味財産額	237,403	230,281～ 244,525	230,281～ 244,525	230,281～ 244,525	230,281～ 244,525	千円	

業務・組織に関する計画

取組No.	項目名	指標	現状値	目標値					単位
			令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度		
①	シルバー人材センター事業における業務の能率向上	職員の研修参加件数	R2:6	6	6	6	6	件	
		関係機関会議出席件数	R2:16	25	25	25	25	件	
②	効率的・効果的な葬祭場運営に向けた法人内の連携	斎苑連絡会議開催数	R2:12	12	12	12	12	回	

法人(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課 健康福祉局保健所生活衛生課
---------	----------------------	-----	----------------------------------

2. 本市施策推進に向けた事業計画①

事業名		シルバー人材センター受託事業						
現状		<ul style="list-style-type: none"> ・粗入会率を上げ、一般に事業の啓発を図るためには登録会員数の増加が必要です。 ・今後もより多くの会員に仕事を提供し、高齢者の生きがいを高め、就業機会の確保を図ることが必要です。 						
行動計画		<ul style="list-style-type: none"> ・会員募集の広報活動として、市広報掲示板など各種広報媒体への記事の掲載等を充実させ、更に効果的な広報を検証し新規入会会員を獲得します。 ・就業機会創出活動による受注拡大、会員募集活動による登録会員数の増加、会員組織の活用による事務処理の効率化を図り、就業実人員数の増加を図る体制を整えます。 ・令和6年度までの目標値については、シルバー人材センター第3期基本計画に基づき設定し、その増加数から令和7年度の目標値を設定しておりますが、変化する社会状況等を見据えたシルバー人材センターの次期計画等で見直しを図ります。 						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
指標	1	シルバー人材センター登録者数	R2:5,780	6,540	6,820	7,100	7,380	人
	説明	シルバー人材センターに登録した会員数						
	2	シルバー人材センターを通じて仕事に就いた高齢者の数(請負・委任事業)	R2:1,864	1,913	1,933	1,953	1,973	人
	説明	シルバー人材センターの就業実人員(請負・委任)						
	3	事業別の行政サービスコスト	R2:175,839 (R2:981,623)	179,099 (1,014,537)	180,856 (1,017,741)	182,637 (1,032,551)	184,443 (1,042,086)	千円
	説明	本市財政支出(直接事業費)						

本市施策推進に向けた事業計画②

事業名		川崎市葬祭場管理運営事業						
現状		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者人口の増加に伴う火葬需要の増大への対応が求められています。 ・家族葬、一日葬の増加など葬儀形態の変化に伴う多様なニーズへの対応が求められています。 ※本事業は指定管理事業によるものであり、指定管理期間は、令和2年度から令和6年度の5年間となります。						
行動計画		<ul style="list-style-type: none"> ・夏期、冬期の火葬需要が増加する時期において、友引日開苑を実施することで火葬需要への対応を図ります。 ・葬祭場運営会議を定期的開催し、情報・課題等の共有、課題等の整理・対応及び重要事項の決定を行うとともに、効率的な葬祭場運営に努めてまいります。 【葬祭場運営会議における主な課題解決に係る取組事例】 新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬に関するガイドラインの策定、友引日開苑の日程、斎苑利用案内の改訂、予約システムの改修、斎苑工事に伴う臨時休苑等の対応 <ul style="list-style-type: none"> ・南北両斎苑の事務所窓口及び苑内数カ所にアンケート回収箱の増設や多様な方法により、利用者から大小様々なご意見・改善要望等をいただくよう努め、これに対応することでサービスの向上を図ります。 ※指定管理者の更新等によって、R7年度以降、事業別の行政サービスコスト等の目標変更の必要が生じる場合があります。						
スケジュール		現状値	目標値					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
指標	1	火葬件数の確保	R2:10,883	12,400	12,500	12,600	12,700	件
	説明	南北両斎苑で実施する火葬件数						
	2	葬祭場運営会議開催数	R2:12	12	12	12	12	回
	説明	川崎市と共同体とで開催する葬祭場運営会議の開催数						
3	ご意見・改善要望等への対応割合	R2:60	65	70	75	80	%	
説明	葬祭場運営に対するご意見・改善要望等のうち、指定管理者として年度内に対応ができた件数の割合							
4	事業別の行政サービスコスト	R2:227,919 (R2:227,919)	236,453 (236,453)	247,409 (247,409)	246,916 (246,916)	246,916 (246,916)	千円	
説明	本市財政支出 (直接事業費)							

3. 経営健全化に向けた事業計画①

項目名		契約高の向上による財務状況の改善						
現状		公共系、企業系の大口の顧客を獲得することにより契約金額が伸びる傾向があるため、多くの登録会員を就業させるための大口契約の受注拡大を図り、財源確保に努め、経常収支比率や正味財産額を保持していく必要があります。						
行動計画		<ul style="list-style-type: none"> ・就業機会創出活動、会員募集を効果的に行い、受注件数と登録会員数を増加させることで契約金額の増につなげ、経常収支比率と正味財産額について、一定の比率と額の範囲で推移させることを目指します。 ・令和6年度までの目標値については、シルバー人材センター第3期基本計画に基づき設定し、その増加金額から令和7年度の目標値を設定しておりますが、変化する社会状況等を見据えたシルバー人材センターの次期計画等で見直しを図ります。 						
スケジュール		現状値	目標値				単位	
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
指標	1	契約金額	R2: 938,204	943,000	955,000	967,000	979,000	千円
	説明	シルバー人材センターが受注した契約金額(委任・請負業務)						
	2	経常収支比率	R2: 102.4	97~103	97~103	97~103	97~103	%
	説明	経常収益 ÷ 経常費用 × 100						
	3	正味財産額	R2: 237,403	230,281 ~ 244,525	230,281 ~ 244,525	230,281 ~ 244,525	230,281 ~ 244,525	千円
	説明	指定正味財産 + 一般正味財産						

4. 業務・組織に関する計画①

項目名		シルバー人材センター事業における業務の能率向上						
現状		事業の拡大と適正就業の推進のための事務局体制の強化には職員のスキルアップが必要不可欠です。また、関係機関との会議に出席し、常に最新の情報を確保することで、職員の業務知識の向上や効率的な事業展開に寄与できると考えます。						
行動計画		より効率的な事業推進体制の強化を構築するため、内外問わず開催される関係機関の職員研修に参加し、職員のスキルアップを図ります。また、市との連絡会議や、神奈川県シルバー人材センター連合会が主催する会議等に積極的に参加し、知り得た情報を法人で共有し、業務拡大に役立てます。予定される職員の研修会参加内容としては、職業紹介事業講習、労働者派遣事業責任者講習会、適正就業研修、業務システム研修などがあります。なお、参加対象職員については減少傾向にあるため、職員のスキルアップに必要な研修を厳選し、参加してまいります。						
スケジュール		現状値	目標値					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
指標	1	職員の研修参加件数	R2: 6	6	6	6	6	件
	説明	職員のスキルアップに伴う研修会参加件数						
	2	関係機関会議出席件数	R2: 16	25	25	25	25	件
	説明	市・関係機関との会議等の出席						

業務・組織に関する計画②

項目名		効率的・効果的な葬祭場運営に向けた法人内の連携						
現状		高齢者人口の増加による火葬需要の増加や葬儀形態の多様化により、火葬件数増加への対応や多様化する葬祭場利用者のニーズに対して、南北両斎苑では適切に管理運営を行っています。						
行動計画		斎苑連絡会議を定期開催することにより、法人内の連携を強化するとともに、内部統制を図ります。 【斎苑連絡会議における主な検討課題事例】 新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の火葬に関するガイドラインの策定、友引日開苑の日程、斎苑利用案内の改訂、予約システムの改修、斎苑工事に伴う臨時休苑等の対応						
スケジュール		現状値	目標値					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
指標	1	斎苑連絡会議開催数	R2: 12	12	12	12	12	回
	説明	シルバー人材センター本部、南北斎苑による会議の開催数						

法人(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課 健康福祉局保健所生活衛生課
---------	----------------------	-----	----------------------------------

(参考)本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する計画に設定する指標一覧

本市施策推進に向けた事業計画						
指標	指標の考え方	現状値	目標値	単位	目標値の考え方	
		令和3 (2021)年度	令和7 (2025)年度			
シルバー人材センター受託事業						
1	算出方法 シルバー人材センターに登録している会員数	シルバー人材センター事業である高齢者へ就業の機会を提供するための指標として設定。会員となり得る高齢者を発掘し、登録会員として迎えることで、高齢者に対する就業の場の提供を効率的に行っていくための成果を測るものです。	R2:5,780	7,380	人	目標値は公益財団法人川崎市シルバー人材センター第3期基本計画(R2~R6)の数値を目標とします。令和7年度については、第3期基本計画で設定されている年間280人の増加数を令和6年度目標値に加算していますが、変化する社会状況等を見据えた次期計画等で見直す場合があります。 【第3期基本計画(R2~R6)目標値】 R2:5,980人、R3:6,260人、 R4:6,540人、R5:6,820人、R6:7,100人 【参考:過去4年間の実績】 H29:5,081人、H30:5,399人、 R1:5,724人、R2:5,780人
2	算出方法 シルバー人材センターを通じて仕事に就いた高齢者の数(請負・委任事業)	シルバー人材センター事業である高齢者へ就業の機会を提供するための指標として設定。就業実人員の推移、状況を把握することで、安定的・継続的に事業を行っているか、その取り組みの成果を測るものです。	R2:1,864	1,973	人	目標値は公益財団法人川崎市シルバー人材センター第3期基本計画(R2~R6)の数値を目標とします。令和7年度については、第3期基本計画で設定されている年間20人の増加数を令和6年度目標値に加算していますが、目標値については、変化する社会状況等を見据えた次期計画等で見直す場合があります。 【第3期基本計画(R2~R6)目標値】 R2:1,873人、R3:1,893人、 R4:1,913人、R5:1,933人、R6:1,953人 【参考:過去4年間の実績】 H29:2,348人、H30:2,118人、 R1:1,973人、R2:1,864人
3	算出方法 本市財政支出=市補助金+市委託料(直接事業費=経常費用事業費)	事業活動を行う上で必要な経常費用に占める市の財政支出を把握するための指標。シルバー人材センター事業に係るその取組の成果を測るものです。	R2:175,839 (R2:981,623)	184,443 (1,042,086)	千円	市補助金については、R4以降は据え置いています。市委託料については、公共団体部門の受託事業の増加を目指し、H30からR1の委託料の増加率1.014を毎年乗じて算出し、補助金の額と合算した金額を目標とします。 【参考:過去4年間の実績】 H29:176,899千円(補助金:50,019千円、委託料:126,880千円)、H30:181,475千円(補助金:47,736千円、委託料:133,739千円)、 R1:187,655千円(補助金:51,966千円、委託料:135,689千円)、R2:175,839千円(補助金:53,803千円、委託料:122,036千円)

川崎市葬祭場管理運営事業						
1	火葬件数の確保	火葬需要への対応を図るための指標として設定。葬祭場利用者等のニーズに適切に対応し、事業を安定的・継続的に実施するための取組の成果を測るものです。	R2: 10,883	12,700	件	南北両斎苑の火葬処理に係る運用を改善したことにより、令和3年度の火葬件数が年間約12,300件の見込みとなったことから、更に令和4年度以降も改善を図ることで両斎苑合せて年間100件増加させ、令和7年度までに年間12,700件の火葬件数を目指します。 【参考: 過去4年間の実績】 H29: 10,234件、H30: 10,527件、R1: 10,819件、R2: 10,883件
	算出方法					
2	葬祭場運営会議開催数	課題解決に向けた取組を図るための指標として設定。葬祭場運営事業を安定的・継続的に実施するための取組の成果を測るものです。	R2: 12	12	回	川崎市、共同体と実施する葬祭場運営会議は毎月1回(年間12回)開催し、課題解決に向けた取組を行います。 【参考: 過去4年間の実績】 H29: 12回、H30: 12回、R1: 12回、R2: 12回
	算出方法					
3	ご意見・改善要望等への対応割合	葬祭場利用者からのご意見・改善要望等へ対応することでサービス向上の指標として設定。南北斎苑の現場で、直ちに対応できるものは速やかに実行し、直ちに対応できないものについては、毎月開催する斎苑連絡会議で協議・検討してから対応するなど、サービス向上の取組の成果を測るものです。	R2: 60	80	%	南北両斎苑の利用者から頂いた、葬祭場運営に対するご意見・改善要望等のうち、年度内に対応できた件数の割合について、令和7年度までに年間80%とする指標を新たに設定します。 【参考数値】 令和2年度対応件数9件、要望等件数15件、対応割合60.0%
	算出方法					
4	事業別の行政サービスコスト	事業活動を行う上で必要な経常費用に占める市の財政支出を把握するための指標。指定管理事業に係るその取組の成果を測るものです。	R2: 227,919 (R2: 227,919)	246,916 (246,916)	千円	令和3年度から令和6年度までの協定に基づく指定管理料と令和7年度の目標値については、令和6年度の指定管理料の横置きとします。 【参考: 指定管理料】 H29: 174,065千円、H30: 199,773千円 R1: 208,095千円、R2: 227,919千円 R3: 232,602千円、R4: 236,453千円 R5: 247,409千円、R6: 246,916千円
	算出方法					

経営健全化に向けた事業計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	単位	目標値の考え方
		令和3 (2021)年度	令和7 (2025)年度		
契約高の向上による財務状況の改善					
1	契約金額	R2: 938,204	979,000	千円	目標値は公益財団法人川崎市シルバー人材センター第3期基本計画(R2～R6)の目標値を反映しました。令和7年度については、第3期基本計画で設定されている年度増加額12,000千円を令和6年度目標値に加算し、設定しますが、目標値については、変化する社会状況等を見据えた次期計画等で見直しを図ります。 【第3期基本計画(R2～R6)目標値】 R2: 919,000千円、R3: 931,000千円 R4: 943,000千円、R5: 955,000千円 R6: 967,000千円 【参考: 過去4年間の実績】 H29: 1,261,805千円、 H30: 1,133,443千円、 R1: 1,060,769千円、 R2: 938,204千円
	算出方法 シルバー人材センターが受注した契約金額(委任・請負業務)				
2	経常収支比率	R2: 102.4	97～103	%	公益法人に係る収支相償の観点から、100%を超える収益分については、翌年度以降で費消する必要があること、また、新型コロナウイルス感染症等の影響も考慮し、100%の前後3%の範囲内を目標とします。 【参考: 過去4年間の実績】 H29: 99.5%、H30: 99.8%、 R1: 100.9%、R2: 102.4%
	算出方法 $経常収益 \div 経常費用 \times 100$				
3	正味財産額	R2: 237,403	230,281～ 244,525	千円	収支相償の原則(公益目的事業を行うために必要な費用を大幅に超える収入を、長期間得続けてはいけない)から、経常収益の増減を見込み、現状値の前後3%の範囲内を目標とします。 【参考: 過去4年間の実績】 H29: 199,141千円、H30: 195,889千円、 R1: 207,987千円、R2: 237,403千円
	算出方法 指定正味財産＋一般正味財産				

業務・組織に関する計画

指標	指標の考え方	現状値	目標値	単位	目標値の考え方
		令和3 (2021)年度	令和7 (2025)年度		
シルバー人材センター事業における業務の能率向上					
1	職員の研修参加件数	R2:6	6	件	シルバー事業に係る適正就業研修、業務システム研修会、職業紹介事業及び労働者派遣事業に係る講習会等年間6回の研修会等に参加する目標とします。 【参考:過去4年間の実績】 H29:6件、H30:20件、R1:18件、R2:6件
	算出方法 職員の研修会参加件数				
2	関係機関会議出席件数	R2:16	25	件	平成29年度から令和2年までの市及び関係機関との会議等出席数の平均を参考として目標値を設定します。 【参考:過去4年間の実績】 H29:22件、H30:28件、R1:28件、R2:16件
	算出方法 市・関係機関との会議等の出席件数				
効率的・効果的な葬祭場運営に向けた法人内の連携					
1	斎苑連絡会議開催数	R2:12	12	回	原則として、毎月1回開催します。 【参考:過去4年間の実績】 H29:12回、H30:12回、R1:12回、R2:12回
	算出方法 シルバー人材センター本部、南北斎苑による会議の開催数				

法人(団体名)	公益財団法人 川崎市シルバー人材センター	所管課	健康福祉局高齢者在宅サービス課 健康福祉局保健所生活衛生課
---------	----------------------	-----	----------------------------------

5. 財務見通し

		現状		見込み			
収支及び財産の状況(単位:千円)		令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)						
	経常収益	1,276,182	1,273,291	1,287,297	1,301,457	1,315,774	1,330,247
	経常費用(事業費)	1,209,542	1,239,582	1,250,990	1,265,150	1,279,467	1,293,940
	経常費用(管理費)	37,224	38,709	36,307	36,307	36,307	36,307
	うち減価償却費	4,414	4,546	4,546	4,546	4,600	4,600
	当期経常増減額	29,416	△5,000				
	経常外収益						
	経常外費用						
	税引前当期一般正味財産増減額	29,416	△5,000				
	当期一般正味財産増減額	29,416	△5,000				
(指定正味財産増減の部)							
当期指定正味財産増減額							
正味財産期末残高	237,403	232,403	232,403	232,403	232,403	232,403	
貸借対照表	総資産	512,848	529,511	529,972	527,363	543,241	543,564
	流動資産	317,048	338,257	343,264	345,201	355,678	360,602
	固定資産	195,800	191,254	186,708	182,162	187,562	182,962
	総負債	275,445	297,108	297,569	294,960	310,837	311,161
	流動負債	199,962	205,018	206,463	208,734	211,199	213,522
	固定負債	75,483	92,090	91,106	86,226	99,639	97,639
	正味財産	237,403	232,403	232,403	232,403	232,403	232,403
	指定正味財産						
一般正味財産	237,403	232,403	232,403	232,403	232,403	232,403	
主たる勘定科目の状況(単位:千円)		令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
経常収益	受託事業及び葬祭場管理運営事業	1,167,669	1,167,143	1,182,994	1,205,950	1,217,457	1,234,395
経常費用	委託費(事業費+管理費)	170,112	168,657	178,270	188,432	199,172	210,525
総資産	特定資産	116,837	117,187	117,539	117,892	118,245	118,600
総負債	有利子負債(借入金+社債等)	56,254	54,225	52,197	50,168	60,000	58,000
本市の財政支出等(単位:千円)		令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金		53,803	54,525	53,622	53,622	53,622	53,622
負担金							
委託料		122,036	123,745	125,477	127,234	129,015	130,821
指定管理料		227,919	232,602	236,453	247,409	246,916	246,916
貸付金(年度末残高)							
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)							
出捐金(年度末状況)		10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
(市出捐率)		30.6%	30.6%	30.6%	30.6%	30.6%	30.6%
財務に関する指標		令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		158.6%	165.0%	166.3%	165.4%	168.4%	168.9%
有利子負債比率(有利子負債/正味財産)		23.7%	23.3%	22.5%	21.6%	25.8%	25.0%
経常収支比率(経常収益/経常費用)		102.4%	99.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
正味財産比率(正味財産/総資産)		46.3%	43.9%	43.9%	44.1%	42.8%	42.8%
経常費用に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用		32.4%	32.1%	32.3%	32.9%	32.6%	32.4%
経常収益に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益		31.6%	32.3%	32.3%	32.9%	32.6%	32.4%
法人コメント		現状認識				今後の見通し	
現状認識		今後の見通し				本市コメント	
<p>経常収益は、葬祭場管理運営事業収益の増額及び労働者派遣事業に係る国庫補助金が増額傾向にあります。新型コロナウイルス感染症及び適正就業の影響を受ける受託事業収益については、以前として厳しい状況です。</p> <p>費用については、受託事業減少に伴う支払配分金の減額や、新型コロナウイルス感染症による普及啓発活動等の事業縮小等により、例年に比べ経常費用は減少しております。</p>		<p>安定した財政運営を続けるためには、受託事業収益の拡大及び国庫補助金の安定した確保が必要となります。</p> <p>しかしながら、受託事業においては新型コロナウイルス感染症の影響はいつまで続くか不透明であり、企業等における事業体制の見直し等から受注の確保は更に厳しくなると見込まれますが、登録会員の確保及び受注実績の増加が、受託事業収入に連動することから、PR活動等の強化及び新規受注の開拓等に取り組むことで、受託事業収益の確保に努めます。</p> <p>また、労働者派遣事業については実績が順調に推移していますので引き続き拡大に努めるとともに、事業実績が影響する国庫補助金の確保についても努めて参ります。</p>				<p>新型コロナウイルス感染症の影響による受注減少・財政悪化を防ぐため、契約高向上の取組、特に新規受注先の開拓、受注可能な業種の拡大等のための広報・PR活動の強化・工夫、会員の育成、就労機会のマッチング等の取組強化に期待します。</p> <p>また、労働者派遣事業拡大と国庫補助金の確保の取組を継続するとともに、事務局体制効率化等によるコスト削減にも期待します。</p>	